

# 学校課題

## 1 研究主題

自ら学び、深く考える子どもの育成  
～基礎・基本の確実な定着と「考える」「学び合い」を大切にした授業づくりを通して 1年次～

## 2 はじめに

過去3年間の学校課題「主体的・対話的で深い学びの実現 ～大谷東小 学びの約束の実践を通して～」の研究から、以下のような成果が認められた。

- ・めあてを明確に示し、授業の見通しをもたせるための工夫をすることで主体的な学びが展開されている。
- ・一人学びやグループ学習の時間の確保、思考ツールや ICT 機器の活用により、互いの考えを比較したり、考えを深めたりする工夫が図られ、対話的な学びが十分に展開されている。

研究の成果として「主体的・対話的な学び」は一定の成果が認められる。しかし、「深い学び」に関してはふり返り活動の時間確保や内容の充実に課題が認められた。また、令和5年1月実施の CRT 学力検査の結果から残念ながら、各学年とも、国語、算数の基礎・基本の学力の定着度が低いという結果がでた。

そこで令和5年度は、

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
- ② 「考える」「学び合い」を大切にした授業づくり

の2点に重点を置いて研究を進め、「自ら学び、深く考える子ども」に迫りたいと考える。

## 3 研究の内容

「自ら学び、深く考える子ども」の育成に向けて、学習指導全体計画の努力点及び具体的な取組の徹底実施を行う。特に、ぐんぐんタイムの充実、「大谷東学習スタンダード」の流れに沿った授業づくりを行うこと、必要に応じて思考ツールや ICT 機器を適切に活用することで研究を進めていく。

## 4 研究の方法

- ① 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」に向けて

ぐんぐんタイムの充実を図る。(5分間で完結させる。)

- ・国語では 1、2年 …ひらがな・カタカナの読み・書きと復習 漢字(読み・書き)  
3年以上 …漢字の読み・書き、ローマ字の読み・書き
- ・算数では 加法・減法・乗法・除法を行う。

※ぐんぐんタイムでは上記の学習活動のみ行う。使用する漢字ドリルは学校で統一する。

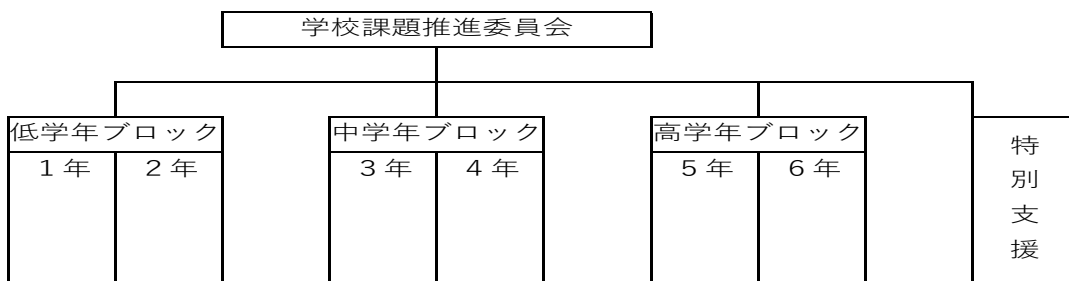
- ② 「考える」「学び合い」を大切にした授業づくりに向けて、「大谷東学習スタンダード」を活用する。

- ・自分の考えやその理由を「書く」活動を取り入れる。また、考えを説明させる時間の確保及び考えを選択・吟味する時間の確保をする。
- ・友達の考えを聞いてメモなどをとり、自分の考えを深めたり、友達の発言を発展させたりするための手立てを講じる。(教師のコーディネート)

- ・互いの考えや思いを言葉で伝えたり、話し合ったりする活動を意図的、計画的、継続的に取り入れる。必要に応じて、思考ツールやICT機器の適切な活用を図る。
- ・ふり返りの視点(わがともや)を意識させた活動の充実と時間の確保を図る。

- ③ 国語、算数の授業を通して研究を進める。学年部会を中心に継続して研究を進める。必要に応じて学年ブロックで指導案検討会なども行う。学年の研究授業は、学年担任全員で行う。
- ④ 研究状況のまとめ(成果と課題)については、2つの重点に対するまとめをする。児童の変容の様子でまとめるようにする。

5 研究組織 ※学校課題研修は職員研修の一環として行う。



※推進委員会メンバー …… 校長、教頭、主幹、児童指導主任、各学年主任、学習指導主任  
司会進行は学習指導主任が行う。

※教科主任は必要に応じて、学校課題推進委員会や学年部会に参加する  
原則、無担は関係の深い学年に所属する。

6 研究計画 研究授業の日程等は決定次第後日通知